

藤棚新聞



第35号

発行

2014年 4月20日

藤棚新聞

西区制70周年を祝う!

さくらフェスタ

みなとみらいエリアで4月5日、西区制70周年を祝うさくらフェスタの1日が華やかに実施されました。この日は小雨がぱらつきましたが、会場の円形広場やさくら通り、市美術館前などに大勢の観客が詰めかけました。



高須智与さんに感謝状贈呈
校のプラスバンド演奏、チアガールの演技や曲芸などたくさんのイベントが行われました。

まず西区制70周年記念キャッチフレーズ「みらいへつなごう西区から」の作者である高須智与さんに感謝状が贈呈されました。

このキャッチフレーズは、70周年をPRするのぼり旗に書かれて、いろいろな場面で使われます。写真の他に、岡野中学



子どもブギウギ



さくら綱引き選手権

西区区政推進課の杉崎企画調整係長は、「区制70周年は温故知新をテーマにしているため、皆さまにまちの魅力を見つけていただき、自分の住むまちを知るきっかけとしていただければ」と述べました。



網戸の張り替え

地域の生活サポート

第1回

サポート西 / ほっと幸せ会

「サポート西」では、障子や網戸の張り替え、庭木の剪定、電球の取り換えなどちょっとしたことから、床の修繕や玄関の錠前の交換、倒れそうな塀を作り直す、直径40センチの大きな庭木の伐採などといった大掛かりな作業のお手伝いまで、日常生活の中で力を貸してあげられることを考えて、サポートをしています。会長の伊神貞夫さんを初め、会員18名で年間120~150件を実施する活躍ぶりです。それでも「まだまだPRが足りない、してあげられることがあるのでは」と伊神さんは言います。

「ほっと幸せ会」は戸部本町地域ケアプラザで弁当を作って、半径500メートル以内にお住まいの高齢者の方がたに、毎月第1水曜日に配食サービスをしています。(写真は伊神さん提供)

お問合せ先：045-241-6930 伊神貞夫さん 修復後()



修復前()



二人で民謡



この町、
この人

三枝和男さん、洋子さん

「生活の中で生まれたすばらしい唄が、たくさんあります。その心の叫びを音に出すのが民謡です。」と熱く語る三枝和男さん。民謡グループの“楽”(がく)を率いている奥様の洋子さんは「音楽を楽しみたい、

そして皆さんにも楽しんで欲しい」と、戸塚や綱島で三味線や民謡の教室を開きながら普及に努めています。民生委員の依頼を受けて月に2回程度、7~10人で“戸部本町地域ケアプラザ、藤棚地域ケアプラザや、なごやか(久保町)

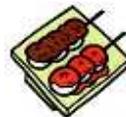
を訪問し、利用者さんと「大漁唄いこみ」「ダンチョ節」を唄い、「炭坑節」を踊るそうです。帰り際、「楽しかった、また来てね」と言われるとき、「ああ、やってて良かった」と思います。

お住まいは藤棚町で、音楽仲間から寿童さんと呼ばれているご主人は、東京都の出身。プロのドラマーになる夢が、今は尺八、笛の奏者になりましたが太鼓演奏の基礎を築きました。洋子さんは藤棚で生まれ、6歳から箏、舞踊、三味線を習いプロの道に入り、今では一日なんと5時間近くも指導に励んでいます。

今後は、お二人とも音楽の幅が広いことから、いろんなジャンルに挑戦しアレンジを加えながら、皆さんに飽きないで楽しんでもらえるようにしていきたいとおっしゃっていました。藤棚の商店街で演奏が聴けるといいですね。



(F) 藤棚1番街こども笑店街
5月11日(日)のチラシ



(F)

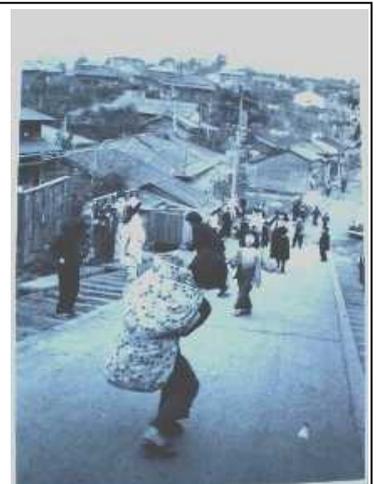


新しくなった久保町公園

久保町公園は老朽化が進んでいたことから、西土木事務所ではみなさんの使い勝手を考慮して施設改良を進めて、この度完成しました。4月1日、きれいな桜の下でこどもたちが楽しそうに遊んで、ビニールを敷いて歓談をしているお母さん方もいて、とても素敵な公園に生まれ変わりました。

昔と今 尻こすり坂

藤棚の交差点から水道道を通って野毛山に向かい、二つ目の大きな坂が尻こすり坂です。急斜面なので引いていたリヤカーを前に出して、尻を落としてゆっくり進んだことから名付けられたとか。写真は昭和30年()



坂の上部に17%の標識があります。100m進んで17m上る斜面は、スキー場だと上級斜面でしょうか。現在の尻こすり坂

() (F)

稲荷台小学校PTAの活動

元稲荷台小学校PTA会長 鈴木幸枝さん



PTAとは、保護者と教職員が協力し児童が学

びやすい環境を整える任意の会です。最近では保護者だけでなく地域の方も役員になっていただきPTCAという組織になっている学校もあります。

活動内容はベルマークの収集、広報誌作成、通学路の安全見守り、白衣点検、運動会の運営手伝い、バザーの企画運営などです。これらを7つの委員会で分担し保護者は必ずどこかの委員会に所属をします。仕事をしているお母さんが多いことから、ライフスタイルに合わせて委員会を選べるようにしています。また決める時は学年を超えてお友達同士でも委員会を選べるよう工夫しています。

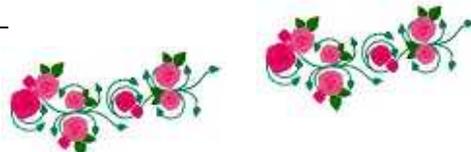
新たに「稲荷台ユナイテッド」という組織も作りしました。2週間に一度、朝授業前の10分間、子どもたちにお話を読んであげるブックレンジャー、芝生の手入れ、家庭科や1年生のプール学習の安全見守りなど登録制でできるときにご協力いただくものです。地域の方には参加しやすい活動になっていますので、ぜひご登録いただければと思います。すでに境之谷や公園近くの地域の方には登下校の見守りで毎朝お世話になっています。

昔と今では教育に対する考え方や子育ての考え方が学校も保護者も変わってきています。しかし、人を育てるのは人であり、愛する人々の手のぬくもりであることにかわりはないと思っています。稲荷台の子どもたちがまっすぐと子供らしく育っていくために多くの方の手のぬくもりが必要です。これからも無理をせず楽しくできる範囲でのご協力をお願いいたします。

長い間稲荷台小学校PTA会長をお勤めになって、先月で退任された鈴木幸枝さんに、これからのPTAについてご意見をお寄せいただきました。

こんにちは、ぐるーぷ！

ゆる体操



ゆる体操を訪ねました。頭、顔、肩、胸、腹、背中、脚を、ゆっくりしたリズムで回す、振る、さすります。子どももいっしょです。脳と身体を一体化させるために、「腰をモゾモゾ、手首をブラブラ、脚をコゾコゾ」という言葉が先生から優しく投げかけられます。

みなさんは、足の張りがなくなった、風邪をひいて背中や頭が痛いときにやると薬に頼らず治った、基礎体温が上がった、つまづくことがなくなったと感想を言ってくれました。



「ゆる体操」という名前は「ゆるする、ゆるれる、ゆるむ」から。身体の部位を強く曲げ伸ばしする必要もなく、身体が硬い、柔らかいを問題にしないというので私も体験しました。

日本ゆる協会公認指導員の梅本先生によると、もともと持っている身体機能をさらに高めるには、ゆる体操をすることによって身体を緩める(脱力する)ことが大事で、それが心を緩めることにつながり、ひいては病気の予防、介護の予防にもなるそうです。

教室の場所：藤棚地区センター和室 第2,4 金曜日 10時から 11時30分
問い合わせ：梅本さん 822-2095 (F)

自分たちのまちは自分たちで守ろう

東久保町 地域防災イベント

3月23日(日) 10時~12時
池ノ上公園で、実施されました。初めに東久保町協議会の和田会長が「安全、安心の町を目指す」と宣言しました。
(主催: 東久保町夢まちづくり協議会)



起震車で、関東大震災のM7.9に
思わず手を着く参加者()
煙体験のテントの中は、前が見えな
くて壁に手を這わせながらの前進



です。()

参加者は「体験
しておけば、ほん
とうの時に
も違うと思う」と
感想を述べました。
記者も体験しました。



簡易で立派なトイレ()と
段ボール箱で作った丈夫で
安定した手作りのトイレ
()

F A X : 045-895-0081

Eメール: fujidananp@m.jcnnet.jp

巻頭句には粗品を進呈。

投句 当季雑詠で一人2句まで、氏名、連絡先
を記載して。次回締切は五月二十日。
*

黄の鞆も木の芽風に誘われているのだ。
さまざまに萌え出る木々の芽の美しさは時とし
て花をも凌ぐ。そのころの風を木の芽風という。

《寸評》

白菜漬手秤してる塩かげん
故郷の山に声かけいちご狩る
酒の客仕上は何時もニラ雑炊

吉田光子
鹿沼久子

少し濃き生姜湯を飲み鬼やらい
みちくさのコースに本屋新学期

近藤廣子
小野元夫

深夜ラジオ声帯模写の猫の恋
木の芽風ショーウィンドに黄の鞆

大川照子
今吉正枝

今吉正枝

藤棚俳壇・選者 三村凧彦

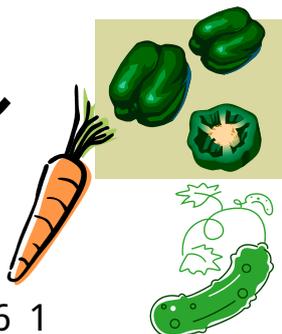
地元のお客さまに愛されて75年

特選品の店

ヤオエイ

西前中央商店街

TEL 321-7561



ワーカーズ・コレクティブ

はっぴいさん



若者と経験豊富なヘルパーが

くらしの困りごとをサポート

家の中の片づけ・窓ふき・家具の移動・障子貼
り・草むしり・大掃除・買い物などのお手伝い
サービス料:ヘルパー1人、1,200円/時間+交通費
関心のある若者やシニアのワーカーさん募集中
TEL: 080-9170-8111 講座開催: ふすま貼り, 剪定
mail: w.co-happysan@nifty.com

藤棚新聞ホームページ

<http://www1.ttmy.ne.jp/fujidana/>

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@m.jcnnet.jp

【発行】藤棚新聞

〒220-0053 横浜市西区久保町 17-2